緑と水 まちを豊かに－尽きない可能性を追い求めます－
公益財団法人 東京都公園協会
Tokyo Metropolitan Park Association

令和 8 年 11 月 12 日
公益財団法人東京都公園協会
東京農業大学
いであ株式会社

近赤外線を活用した新たな樹木点検手法の開発に向けた共同研究を開始



公益財団法人東京都公園協会は、包括連携協定を締結している東京農業大学 地域環境科学部（森林総合科学科 治山緑化工学研究室 佐藤貴紀助教）および、いであ株式会社と、近赤外線を活用した樹木点検手法の開発に向け、10 月 22 日に共同研究協定を締結しました。

近年、樹木の老木化・大径木化の進行に伴い、倒木等の事故を未然に防ぐための樹木の安全管理が重要な課題となっています。さらに、台風や集中豪雨などの異常気象の影響により、倒木事故を未然に防ぐための安全管理がますます重要となっています。こうした状況を踏まえ、公園利用者の安全確保と健全な樹木管理の推進に向け、新たな樹木点検手法の開発に取り組みます。

本研究では、いであ株式会社が保有する近赤外線を活用した樹木健全度判定技術を用い、樹幹の表面情報と樹木の健全性との関係を検証することで、樹木の健全度を効率的かつ客観的に判定する手法の実用化を目指します。また、東京農業大学は樹木の生理・生態学的観点から測定データの検証・評価を行い、本手法の有効性の確認と評価手法の確立に取り組みます。

研究期間は今冬から令和 11 年度までを予定しており、都立公園の樹木を対象にフィールド調査等の実施や比較・分析を行い、本手法の確立に必要なデータを収集します。

なお、本研究は、公益財団法人東京都公園協会の公益目的事業の一環として実施するものであり、樹木の健全性を効率的かつ客観的に評価する点検手法の確立を通じて、公園利用者の安全性向上と樹木管理業務の効率化に貢献するとともに、広く社会へ還元してまいります。また、本研究の取り組み状況等につきましては、今後東京都公園協会の HP 等を通じてお知らせしてまいります。



遮光カバーを取り外し、近赤外線を活用して樹幹を調査している様子

〔問い合わせ先〕

(公財)東京都公園協会
緑と水の市民カレッジ事務局　　担当：関口　小松　電話　03-5532-1306